

埼玉県障害者スポーツ協会だより

Saitama Adapted Sports Association

第16号 2010（平成22）年1月 埼玉県障害者スポーツ協会 発行
〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町1-124 埼玉県大宮合同庁舎3階
TEL 048-650-0170 FAX 048-650-0171
ホームページ <http://www3.point.ne.jp/~enjoysports/>



知事 あ い さ つ



埼玉県知事

埼玉県障害者スポーツ協会名誉会長 上田 清司

埼玉から新しい道を切り開く ～ 未来への投資 ～

埼玉県障害者スポーツ協会関係者の皆様、新年明けましておめでとうございます。

今年も埼玉での成功例を全国に発信し、ゆとりとチャンス
の拡大に全力で取り組んでいく決意です。

私は、県内経済の活性化、県民生活を守るセーフティネット
の充実に最優先で取り組み、住宅ローン助成制度や緊急借
換資金の創設、新型インフルエンザへの対策強化などを進め
てまいりました。

2010年、新たな活力を生む「未来への投資」を更に進めてまいります。

「新たな成長分野への集中的な投資」を行い、新分野進出や海外展開などに取り組む企業を支援するとともに、子育て支援や学校教育の充実、若者の雇用の確保などを図り、「未来の担い手」を育成してまいります。

また、未来に向けて環境問題への対応は私たちの責務です。「みどりと川の再生」の拡大や地球温暖化対策への取組を加速します。

さらに「安心・安全社会の実現」を進め、災害対策機能の強化、医師・看護師不足やがん対策など地域医療・保健を充実してまいります。

県内では今、元気な高齢者が支援を必要とする高齢者を支える仕組みや民間パトロールなどの「共助」の取組が広がっています。

私は、この「共助」の取組を全県下に拡大させたいと考えています。共助社会が実現されるとき、「未来への投資」は何十倍もの効果を生み出すものと確信しています。

チャレンジするとき、道は開かれます。717万県民の力を結集し、「ゆとりとチャンスにあふれた埼玉県」の実現に一步ずつ確実に歩んでいきましょう。

会 長 あ い さ つ

埼玉県障害者スポーツ協会 会長 塩浦 綾子



新年明けましておめでとうございます。皆様には穏やかに輝かしい新春をお迎えることとお喜び申し上げます。

当協会も、正会員、賛助会員、特別会員をはじめ多くの皆様の格別なるご支援ご協力を賜り、お陰をもちまして6年目の新春を迎えることができました。

去年は、「彩の国ふれあいピック春季大会・秋季大会・球技大会の開催」、「全国障害者スポーツ大会 “トキめき新潟大会” への参加」。また、自主事業として、「健康づくり教室」、「スポーツレクリエーション教室」、「親子水泳教室」の開催及び「ボッチャ大会」、「四面卓球バレー大会」、「サッカー大会」等を実施いたしました。

特に「ふれあいピック大会」では、参加者が増え、全国を目指す選手育成として、また各障害の方が共にいろいろなスポーツを楽しむ大会として成果をあげることができました。また、新潟県で開催された全国大会では、会場が三市域に分かれ分宿となったこともあり、埼玉県選手団員の交流は多くを図ることができませんでしたが、他県選手団とのふれあいが多くありトキめき大会の目的のひとつである「ふれあい・支え合う大会」を体感することができました。

自主事業では、「出前スポーツ教室」「ボッチャ大会」の開催及び埼玉生まれ埼玉育ちの「四面卓球バレー大会」も初開催いたしました。また地元Jリーグのご支援をいただき「浦和レッズハートフルカップ」「大宮アルディージャORANGE! HAPPY!! SMILECUP!!!」も開催することができました。

このように多くの成果をあげることができましたのも当協会会員、大会役員、ボランティア、競技団体をはじめ多くのご関係の皆様のご支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。

本年も上記大会、自主事業を埼玉らしさを十分表現しながら「SPORTS FOR EVERYONE」のスローガンのもと“だれもが、いつでも、どこでもスポーツに親しめるスポーツ・ノーマライゼーションの実現に向け、全力で取り組んでまいります。

本年も引き続きの温かいご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

～ 新 年 の 抱 負 ～

新年を迎えて

埼玉県障害者サッカー協会 会長 井上 晴夫

あけましておめでとうございます。

1年間のサッカー協会の活動もかなり定着し、ある程度見通しを持って行えるようになってきました。

これまで、サッカー協会を支えていただいた加盟各チームの選手やスタッフ及び障害者スポーツ協会の方々から感謝いたします。

さて、今年は定着した大会等のさらなる充実を図り、数多くのチームが参加できるようにしていきたいと考えています。

また、選抜チームの方でも関東ブロック予選突破を目標に県・市ともに切磋琢磨して頑張っていく所存です。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

埼玉県障害者水泳協会 大沼 順市

去年は新潟県で行われた全国障害者スポーツ大会に4ぶりに参加させていただきました。記録的には良くありませんでした。今年もっと練習に励み加齢に負けず記録更新を目指して頑張りたいと思っています。

水泳以外では冬のスキー（雪の中の露天風呂で一杯！）夏のウェークボードやシーカヤック。季節を問わずキャンプやヨットなど楽しいことをたくさんする予定です。

4月の石垣島トライアスロンにもエントリーしました。富士山にも登る予定です。

障害を持たなければこれほど元気に動き回っていませんでした。感謝の気持ちを持って今年一年楽しみながら頑張ろうと思っています。

埼玉選抜男子バレーボールチーム 監督 大澤 慶之

埼玉県障害者バレーボール協会発足後、はや5年が過ぎようとしています。その間、精神障害者部門の設置など、バレーボール競技の底上げが進んでおります。

さて、新年度を迎えるにあたり、埼玉選抜知的障害者男子チームから来年度に向けた決意表明をさせていただきます。

ベルリンの壁崩壊から、20年。

いよいよ、バレーボール男子チームが関東ブロックの壁をぶち壊すときが近づいてまいりました。今年度、はじめて選抜選手の選考会を経て代表選手を選考いたしました。

選手には、選ばれた自信と誇りを胸にそして、同時に、代表選手としての責任を感じて欲しいと思っています。

これまでの目標は、「全国大会に出場すること」でした。しかし、今は、「全国で勝つこと」です。

今、埼玉県には、大きな風が吹こうとしています。

それは、逆風ではなく、強烈な追い風です。

しっかりと、風を掴み、

大きく、加速していきたいと思っています。

バレーボールは、練習することによって、上手くなります。上手くなれば、練習も楽しくなります。

しかし、勝つことによってしか見えない喜びもあります。そんな勝利の向こう側を

私は、選手には、見せてあげたい。

今年こそ、期待しててください。

明けましておめでとうございます。埼玉県障害者スポーツ指導者協議会は、現在1200名を超える会員数となります。本年も、県内の障害者スポーツ発展のために、情報を共有し、資質を高め合い、より高いレベルの指導に携われるよう精進していきたいと考えております。そのため、障害者スポーツ協会主催事業等への指導員の派遣はもとより、広報誌ADAPTの発行、ホームページの公開（http://www.e-adapt.org/）、研修会の開催などに力を入れております。また昨年度、新たに地域推進委員会と事業委員会を立ち上げました。本県は東西に広がっておりますので、地域推進委員会の必要性を感じています。本年度から、まず西部地区をモデルとして推進活動を展開していく予定です。事業委員会では、交流センターとの連携を密にし、様々な行事の運営・指導の場で、会員が参加しやすい態勢を整えていきたいと考えています。交流センターには、協議会の事務局を設置させていただいており、厚く感謝しております。私たち指導員の持っているノウハウが交流センターの事業にうまく生かされることを望んでいます。



ただ、残念なことに、高いモチベーションで積極的に活動されている会員は一部にとどまり、多くの会員が資格を有しているだけで表に出てこないという問題を抱えています。登録の継続率が悪いことも悩みの種です。そのため、会員が「やりがい」を持って活動できる場が必須であり、その意味でも、障害者スポーツ協会と交流センターとの連携を深めていきたいと考えています。

今後とも、連携が深まりますよう、どうぞよろしく願いいたします。そして、期待に応え、より高いレベルの指導が展開できるように、意識と資質の向上に努めていきたいと思っております。

新しい年に向けて

埼玉県身体障害者福祉協会、
埼玉県障害者フライングディスク協会
会長 中田 孝二郎



会員の皆様には新春をお元気で迎えのこととお慶び申し上げます。

昨秋に実施された総選挙において政権政党が変わり10年にわたり改革されて来た障害者自立支援法の改正案が廃案となり不安な年明けとなりましたが、これも新党の機関により法の矛盾を改善する為のものと言われ新法の発効に大きな期待を寄せる事となりました。

そんな世相の中で私達の協会の活動は全国大会をはじめ大きな成果を得て終了しました。春の記録会、秋の県スポーツ大会等で見せた会員の笑顔に大きな喜びを感じました。

そんな活動の期間中、意識の問題なのでしょうか、多くの市町村から地域のスポーツ大会を開催するので激励に来て欲しいとの要請があり、参加して多くの笑顔に触れてまいりましたが地域活動を通して友愛や団結のためにスポーツを対象とした体力保持が目的のイベントが事業計画に組まれる実情に県の委託を受けたスポーツ協会が個々のスポーツ団体の指導や大会の運営等に協力する体制を作る事こそ有意義な活動と言えましょう。在家の生活者の多い身体障害者の方々の保護のためにも組織作りを願ってやみません。

結びに、障害者の健全な育成と協会の発展を祈念いたします。

昨年1年間を振り返ると、色々悩んだ1年だった。6年ほどのアーチェリーの経験がありながら自分自身何も成長していないと実感しています。昨年は、試合に出る回数が減っていた。理由としては、正直に言ってしまうと、スランプだった。体力不足があったからです。そこで、トレーニングメニューを考えてもらい、1年間はトレーニングメニューをこなして来ました。週に3~4回はやっています。今では、だいぶ体力がついてきたと思います。

2010年の抱負とすれば、「ジャパンパラリンピック」で優勝をすることです。2009年の試合では、銀メダルでとても悔しい思いをしました。今度は、どうしても金メダルを取って、世界につながる自信をつけたいと思い、日々練習をしています。アーチェリーを始めて、初めて自分の障害と気づいた。アーチェリーをやって、苦しんでいて、今年初めてアーチェリーと自分との意識を自覚しました。私にとって、アーチェリーとの出会いは運命との出会いでありました。色々な人たちと出会いました。長い間やってきたアーチェリーを、2010年では、第1歩として、また、初心に戻る気持ちで踏み出していきたいと思っています。世界を目指すために、一からアーチェリーと向き合っていく1年にしていきたいのです。色々な方々が応援してくださっていて、期待されていて、そんな声に答えられるように、そして、何よりも、自分自身のために、いままでの反省を含め、自分自身の中で、何がいけないのかを、再確認しながら、1歩1歩踏み出せる1年にしていきたいのです。そして、20代後半を過ぎる今だからこそ、今までできなかったこと、これからも前向きな気持ちでがんばりたいと思います。

今まで、アーチェリーでお世話になった埼玉県アーチェリー協会の会長初め、メンバーの方々や、練習場所での障害者交流センターの職員一人一人にも感謝しています。今まで出会った人たちは、私にとってとても貴重で大切だと思える人たちであります。これからは色々な人たちとの出会いの中で、沢山のことを吸収して、もっともっと大きく成長して行きたいと思っています。今、体力トレーニングと、一からの基礎を行っています。もっと体力と、精神力を身につけたいと思っています。



そして、2010年のジャパンパラリンピックでは世界に向けてまた第1歩から頑張りたいと思っています。

「試合を楽しむ」ことが大切です。

埼玉県障害者卓球協会 横山 二三男

第9回全国障害者スポーツ大会「トキめき新潟大会」に埼玉県選手団役員として参加しました。そこで、はじめて選手のコーチを経験しました。さすが全国大会だけあって皇太子殿下のご臨席をいただいた開会式ではさまざまなイベントがあり、大変な気分の高まりを感じました。参加された選手の皆さんも“やる気いっぱい”になったと思います。選手とは何度か練習会でお会いして、技術レベルはかなり高い方ばかりで、成績も期待できると確信していました。ところが、いざ試合が始まると、普段の力の半分も出ていない。たぶん埼玉県の代表として“いい成績を残したい。”という気持ちが全面に出てしまい、肩に力が入って、いつものプレーができなくなっているのです。

試合中は、選手以上に「どきどき！」の連続でした。そこで、チェンジエンドの時間に選手と一緒に、ゆっくり深呼吸を3回繰り返しました。わたしも選手も、気分を落ち着かせて、普段の気持ちで「試合を楽しむ」ことになりました。

結果は、逆転の金メダル入賞もあり、楽しく祝杯を挙げることができました。全国障害者スポーツ大会は、多くの方の協力とたくさんのボランティアに支えられ、感動を共有できる大会で、貴重な思い出となりました。

今年は、「練習は厳しく、試合は楽しく」をモットーに活動していきたい。



彩の国トップアスリート からの ～新春メッセージ～

選手氏名50音順の掲載です。



戸田中央総合病院女子ソフトボール部 伊藤 良 監督

一昨年に引き続き、昨年もソフトボール教室にお招きいただきありがとうございました。

私たち戸田中央総合病院女子ソフトボール部は、11月～1月のシーズンオフに、様々な施設を訪問しソフトボール教室を行っております。その中の一つであります障害者ソフトボール教室は、私たちの楽しみの一つとなっております。なぜなら、選手の皆さんはいつも一生懸命ボールを追い、元気にソフトボールを楽しんでおられるからです。これは、スポーツをする上でもっとも大切なことであり、また基本であると思っております。参加させて頂く度に、私

ちもソフトボールの原点に戻るようで、とても勉強になっております。一年に一度しか一緒にソフトボールをすることは出来ませんが、常にこの気持ちを持ち続けていきたいと思っております。

さて、2010年の日本リーグでも、地元埼玉での試合が予定されています。2009年は7勝15敗と不甲斐無い成績に終わりましたが、2010年は10勝を目標とし戦っていきます。皆さんに良い報告が出来ることと、元気な姿を見せることが出来るように頑張りたいと思っております。今後とも宜しくお願い致します。

大宮アルディージャ 江角 浩司 選手

昨年の8月に第2回大宮アルディージャ ORANGE!HAPPY!! SMILECUP!!!(埼玉県知的障害者サッカー大会)を開催しましたが、そのときにはプレゼンターとして参加させていただきました。

そのときは「選手のみなさんは思った以上にレベルが高く、何よりみんなが一生懸命にボールを追いかけ聞っている姿にパワーを感じた」ことが強く印象に残っております。この光景を見て、あらためてサッカーの素晴らしさを感じましたし、自分もプロサッカー選手として、一人でも多くのファン、サポーターに夢や感動を与えられるよう、そしてみなさんに負けないよう、日々努力を積み重ねていきたいと思っております。



埼玉ブロンコス キャプテン 清水 太志郎 選手

10月に開幕し、今シーズンもそろそろ後半戦に入っていきます。チーム一丸となってプレイオフ優勝という目標にむかってがんばっていきます。バスケットボールは楽しみながらプレイすることが一番です。練習も試合もバスケットボールの楽しさを感じながら取り組んでください。

bjリーグ2009-2010 シーズン埼玉ブロンコスホームゲーム日程

日程	対戦	開場時間	試合時間	会場
1/16 土	福岡	16:15	18:00	所沢市民体育館
1/17 日	福岡	12:15	14:00	所沢市民体育館
2/ 6 土	新潟	16:15	18:00	所沢市民体育館
2/ 7 日	新潟	12:15	14:00	所沢市民体育館
2/20 土	浜松	16:15	18:00	所沢市民体育館
2/21 日	浜松	12:15	14:00	所沢市民体育館
3/ 6 土	高松	16:15	18:00	さいたま市記念総合体育館
3/ 7 日	高松	12:15	14:00	さいたま市記念総合体育館
3/13 土	大分	16:15	18:00	所沢市民体育館
3/14 日	大分	12:15	14:00	所沢市民体育館
3/27 土	新潟	13:15	15:00	秩父市文化体育センター
3/28 日	新潟	13:15	15:00	春日部市総合体育館
4/10 土	浜松	16:15	18:00	所沢市民体育館
4/11 日	浜松	12:15	14:00	所沢市民体育館
4/24 土	富山	16:15	18:00	所沢市民体育館
4/25 日	富山	12:15	14:00	所沢市民体育館

※開場時間・試合時間等は変更になる場合もございます。変更の場合埼玉ブロンコスオフィシャルホームページ(<http://www.saitamabroncos.com>)にてお知らせ致します。



© HIROKO WATANABE / SAITAMA BRONCOS / bj-league

埼玉西武ライオンズ 中島 裕之 選手

(新年の抱負)

去年は、たくさんのご声援をいただきありがとうございました。
今年も、昨シーズンの悔しさを忘れずにパシフィックリーグ優勝、日本一奪還を目指してチーム一丸となって頑張ります。
県民の皆さまのご声援が選手にとって大きなパワーとなりますので、埼玉西武ライオンズに熱いご声援をよろしくお願いします。

(スポーツに取り組む障がい者への激励)

今年もスポーツを心から楽しみながら、たくさん仲間と交流の輪を広げてください。
そして、スポーツを通じて経験したことを少しでも皆さまの生活の中で活かしていただくと嬉しいです。
皆さまのご活躍を期待しております。
ライオンズ選手一同も皆さまと共に頑張っていきます。



©SEIBU Lions

第18回アジア陸上競技選手権大会男子400・1600R 第1位
第5回東アジア競技大会男子200m 第1位

セーレン 藤光 謙司 選手

(新年の抱負)

今年も世界選手権やオリンピックなどの大きな試合はないですが来年の世界選手権、再来年のオリンピックの繋がるように色々なことを試していく年にしたいと思っています。また、陸上競技を楽しむことを忘れずに日々努力していきたいです。

(スポーツに取り組む障害者への激励)

自分自身もたくさんの挫折を経験して今の自分があります。
誰でも挫折を感じることもあると思いますが、それを乗り越えることで大きく成長できると思うので頑張ってください。
そして、スポーツを愛する障害者の皆さん、スポーツを心から楽しんでください。
皆さんに応援していただければ幸いです。



浦和レッドダイヤモンズ 細貝 萌 選手

新年明けましておめでとうございます。浦和レッズの細貝萌です。
2009シーズンはチームとして今までとは違うサッカーに取組み、監督も新しくフィンケ監督が就任しました。僕個人としては、まずは試合に出場することを目標としていました。試合に出場することはできたのですが、ご存知の通り、春先まではチームも快調に勝利を重ねていたものの、夏場以降は満足できる結果は出せませんでした。何か新しいことトライすることはそう簡単ではないなど、改めて感じたシーズンでした。
辛いシーズンではありましたが、新しい発見だったり、収穫というものも色々ありました。僕は今までプレーしていた所とは違う、左サイドバックでの出場が多く、その結果、プレーの幅が広がったと感じています。他にも若手とのプレーに刺激を受けたり、勝つことの難しさを感じたり、と。これらを今年のプレーに生かしていかなければならないと思っています。

ここ2シーズン、何もタイトルを獲れていないので、今年こそはどれか一つは獲りたいです。でも、僕個人としてはまずは試合に出場することですね。浦和レッズで試合に出場することは簡単なことではありませんから。プロのスポーツ選手として、少しでも皆さんの励みになれるような熱いプレーをしたいと思っていますので、是非浦和レッズを応援して下さい。お互い頑張りましょう！！



©浦和レッズ

浦和レッズレディース 矢野 喬子 選手

新年明けましておめでとうございます。浦和レッズレディースの矢野喬子です。
2009シーズンはスタートからケガで始まり、一年通してケガに悩まされていたので、大変な部分もあったのですが、リーグ優勝を果たすことができ、結果が残せたので、山あり谷ありのシーズンだったと思います。

来シーズンに向けては、シーズンを通してケガをしないこと、V2を達成することを新しい目標として、チームに貢献したいと思います。

あと、今年はチームだけではなく、代表活動もあるので、コンスタントに召集されるようになりたいと思います。

何事にも一生懸命頑張る姿はとてがかっこいいと思います。私も頑張る姿をプレーで表現しますので、皆さん一緒に頑張りましょう。



©浦和レッズ

平成21年度 彩の国ふれあいピックバレーボール大会（精神障害の部）

平成21年11月28日、埼玉県立武道館において平成21年度彩の国ふれあいピックバレーボール大会（精神障害の部）中央大会を開催しました。

この大会は、4地区の予選ブロックから勝ち上がった8チームが出場しました。決勝は、昨年度優勝のフォルテ熊谷対ジャンクション埼玉の対戦となり、熱戦の末、第8回全国障害者スポーツ大会に関東代表として出場経験のあるジャンクション埼玉が勝利を収めました。

優勝したジャンクション埼玉は、平成22年5月千葉県で開催される関東ブロック地区予選会に出場します。この大会で優勝すると、10月23日（日）～25日（月）に千葉県で開催される「ゆめ半島千葉大会」に出場します。



県域

優勝 ジャンクション埼玉
準優勝 フォルテ熊谷
第3位 シリウス

さいたま市域

優勝 ウィーズバレー部
準優勝 萌木のかぜ

平成21年度 彩の国ふれあいポッチャ大会

平成21年12月5日（土）、埼玉県立武道館において平成21年度彩の国ふれあいポッチャ大会を開催しました。競技部門には14チーム、交流部門には10チーム参加して行われました。

この大会は、身体・知的・精神の異なる障害のある選手がチームを編成し、団体戦を争う大会です。ポッチャ競技は脳性麻痺のパラリンピック正式種目として発展し、軽スポーツでありながら奥が深いところから、10月に開催したふれあいピック秋季大会でのポッチャ競技参加者も年々増加するなど、愛好者が増えています。

競技部門・交流部門共に決勝戦はタイブレイク（ファイナルショット）によって

優勝が決まるなど、白熱した試合展開となりました。
大会結果は次のとおりです。



埼玉県のマスコット コバトン

競技部門

優勝 ひまわり会
準優勝 埼玉ポッチャクラブB
第3位 越谷特別支援学校

交流部門

優勝 シブリ3号
準優勝 シブリ2号
第3位 ふじ学園

さいたま市立三橋小学校 交流会



平成21年12月10日（木）、さいたま市立三橋小学校第4学年チャレンジタイム『広げようふれあいの輪』ゲストティーチャーとの交流会が開催され、車椅子バスケットボールチーム「埼玉ライオンズ」から川上理恵選手、齋藤智之選手、杉田章選手、宮澤厚史選手、埼玉県障害者卓球協会からサウンドテーブルテニスの宮澤則子選手、山崎道子選手、埼玉県障害者ポッチャ協会から奈良淳平選手の7名がゲストティーチャーとして参加しました。

前半は各競技の紹介や代表児童による体験、障害者のスポーツの紹介、後半はクラスに分かれて児童との交流が行われました。

平成21年度 彩の国ふれあいピックサッカー大会

平成21年12月6日・13日、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場・補助陸上競技場で彩の国ふれあいピックサッカー大会を開催しました。11人制のチャンピオントーナメントには6チーム（うち1チームはインフルエンザのため棄権）、8人制のフレンドシップリーグには10チーム（うち1チームはインフルエンザのため棄権）が参加して行われました。

大会第1日に行われたフレンドシップは、1点を争う好ゲームが続出しました。決勝戦、3位決定戦では、いずれも同点でPK戦に入る激戦。FC埼玉 WHITEは2対0でPK戦を制し、2年ぶりの優勝を果たしました。

また、チャンピオントーナメントの決勝戦・3位決定戦は、13日、冷たい北風が吹く厳しいコンディションのなか熊谷スポーツ文化公園補助陸上競技場で行われました。前年と同じ顔ぶれとなつた決勝戦は、全国大会経験者らの活躍もあり、FC埼玉 REDがうらわSCを10対0で破り、4年連続優勝を果たしました。大会結果は次のとおりです。



チャンピオントーナメント （11人制）

優勝 FC埼玉 RED
準優勝 うらわSC
第3位 チーム桜A

フレンドシップリーグ （8人制）

優勝 FC埼玉 WHITE
準優勝 FC久美
第3位 川口特別支援学校

平成21年12月27日(日)、浦和コミュニティセンターにおいて、第9回全国障害者スポーツ大会トキめき新潟大会思い出の会を開催しました。

全国大会で共にプレーした仲間たちが集まり、語り合ったり、新潟での思い出のビデオを見たりプレゼント抽選会をしたりと、楽しい時間を過ごしました。

昨年度に引き続き、スポーツ協会松本常務理事がスポーツ協会応援歌の新曲「Dream」を演奏しました。



会場の様子



風間団長 あいさつ



重田総監督 あいさつ



スポーツ協会応援歌演奏



抽選会

平成22年度彩の国ふれあいピック春季大会説明会を開催します！

平成22年度彩の国ふれあいピック春季大会説明会を下記日程で開催します。

- ◆2月2日(火) 14時00分 埼玉県熊谷地方庁舎302会議室
- ◆2月4日(木) 14時00分 埼玉県浦和合同庁舎別館A会議室

どちらか都合のよい日程にご出席ください。

大会日程・会場は決定次第ホームページでお知らせします。



埼玉県のマスコット
コバトン

彩の国ハート&スマイル第2回四面卓球バレー大会 参加者を募集しています！

平成22年2月14日(日)、埼玉県立大学体育館において、昨年度第1回大会に引き続き、彩の国ハート&スマイル第2回四面卓球バレー大会を開催します。

四面卓球バレーは、今から20数年前、埼玉県総合リハビリテーションセンター体育課(現健康増進担当)が、リハビリテーションの一貫として考案したもので、以降多くの実績を残されています。当協会でもスポーツの原点である「楽しさ」「気軽さ」等の要素を持つ四面卓球バレーに着目し、出前スポーツ教室、彩の国ふれあいピック秋季大会でも取り上げてきました。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

募集要領は、次のとおりです。

日時 平成22年2月14日(日) 9:00~16:00 (※参加チーム数により変更あり)

会場 埼玉県立大学 体育館

参加資格 次のすべてを満たす選手により構成するチームまたは個人申込とする。

- (1) 小学5年生以上の身体障害者・知的障害者・精神障害者。ただし、各試合に1名まで健常者が出場できることとする。
- (2) 埼玉県に現住所を有するか、埼玉県内の学校・更生援護施設等に入所・通所・通学している者。

申込方法 【チーム申込】 4名以上のチーム申込。
【個人申込】 1~3名のチーム及び個人申込。
チーム編成は主催者で行います。

申込締切 平成22年1月29日(金)

2月14日はバレンタインデーです。
参加者の皆さんに、素敵なプレゼントがあるかもしれません。奮ってご参加ください！



埼玉県のマスコット コバトン



昨年度の様子

私たちのスポーツ活動を暖かくご支援くださる
 賛助会員（企業・団体）・特別会員（県内市町村）の皆様をご紹介します。

○賛助会員（1月1日現在 73 団体）

- | | | | |
|---------------|---------------------|-----------------|--------------------|
| 青木信用金庫 | 社会福祉法人 埼玉県身体障害者福祉協会 | 税理士法人 しんわ経営会計 | 日本信号株式会社 |
| 曙ブレーキ株式会社 | 埼玉縣信用金庫 | 株式会社 住田光学ガラス | 株式会社 パーパス |
| 旭科学株式会社 | 埼玉県発達障害福祉協会 | 株式会社 全日 | 株式会社 ピックルスコーポレーション |
| 生駒硝子株式会社 | さいたま商工会議所 | 株式会社 タイコー興業 | 北辰図書株式会社 |
| 株式会社 ウチダオート | 財団法人 埼玉新聞社会福祉事業団 | 太平ビル管理株式会社 | 前田印刷株式会社 筑波支店 |
| 浦和ロイヤルパインズホテル | 埼玉県知的障害児者生活サポート協会 | 株式会社 太陽商工 | 前田食品株式会社 |
| イーザイ株式会社 | 社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会 | 田中電気株式会社 | 三国コカ・コーラボトリング株式会社 |
| 株式会社 MI | 埼玉トヨペット株式会社 | 株式会社 タナベ建設 | ミスノ株式会社 大宮営業所 |
| 株式会社 央浦印刷社 | 株式会社 埼玉プロンコス | 積田冷熱工事株式会社 | ムサシノ機器株式会社 |
| 金子物産株式会社 | 斎藤工業株式会社 | 有限会社 ティエムエステート | 株式会社 武蔵野銀行 |
| 金本建設株式会社 | 株式会社 サイドー | デジコム株式会社 | 株式会社 メイコー・明高堂 |
| 川口信用金庫 | 埼玉りそな銀行 | 株式会社 テレビ埼玉 | 株式会社 メディア・ポート |
| 関東自動車株式会社 | 澤田ダイガスト工業株式会社 | 東京機器サービス株式会社 | 株式会社 森島工務店 |
| 共栄企画株式会社 | 株式会社 島村工業 | 東彩ガス株式会社 | 八千代工業株式会社 |
| 株式会社 グリーン企画社 | 株式会社 昭和工業 | 東神システム株式会社 | 山三電機株式会社 |
| クラブILO | 株式会社 新研設備工業 | 株式会社 トーシンパートナーズ | 株式会社 ヨコハマタイヤジャパン |
| 株式会社 サイゼリヤ | シン建工業株式会社 | 永山建設株式会社 | 株式会社 ヨコハマタイヤセンター関東 |
| 埼玉クラブ株式会社 | 新電元工業株式会社 | 日酸 TANAKA 株式会社 | 株式会社 リサイクルアシスト |
| | | | 株式会社 和幸製作所 |

（順不同）

○特別会員（1月1日現在 県内65市町村）

- | | | | | | | | | | | |
|-------|-----|-----|-------|-----|-----|------|------|------|------|-------|
| 川越市 | 熊谷市 | 川口市 | 行田市 | 秩父市 | 所沢市 | 飯能市 | 加須市 | 本庄市 | 東松山市 | 春日部市 |
| 狭山市 | 羽生市 | 鴻巣市 | 深谷市 | 上尾市 | 草加市 | 蕨市 | 戸田市 | 入間市 | 鳩ヶ谷市 | 朝霞市 |
| 志木市 | 和光市 | 桶川市 | 久喜市 | 北本市 | 八潮市 | 富士見市 | 三郷市 | 蓮田市 | 坂戸市 | 幸手市 |
| 鶴ヶ島市 | 日高市 | 吉川市 | ふじみ野市 | 伊奈町 | 三芳町 | 毛呂山町 | 越生町 | 滑川町 | 嵐山町 | 小川町 |
| ときがわ町 | 川島町 | 吉見町 | 鳩山町 | 横瀬町 | 皆野町 | 長瀨町 | 小鹿野町 | 東秩父村 | 美里町 | 神川町 |
| 上里町 | 寄居町 | 騎西町 | 北川辺町 | 宮代町 | 白岡町 | 菫蒲町 | 鷲宮町 | 杉戸町 | 松伏町 | （順不同） |

賛助会員を募集しています！！

埼玉県障害者スポーツ協会は、皆様の会費によって運営されています。障害者のスポーツ活動の普及・充実をはかるには多くの皆様のご理解とご協力が必要です。

ぜひとも、賛助会員として、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



◆賛助会員（個人） 10,000円

◆賛助会員（団体・企業） 50,000円

振込先名義：埼玉県障害者スポーツ協会

① 武蔵野銀行 さいたま新都心支店
 普通口座 020720

② 郵便局
 振替口座 00190-6-559638

ご入会に際しての資料請求・ご質問は
 当協会までお気軽にお問い合わせください。

週に一回以上

スポーツをしましょう！

始めよう、健康づくりの第一歩

埼玉県スポーツ振興のまちづくり推進会議



埼玉県のマスコット
コバトン